

いずみ市民生協の品質・衛生管理報告



品質管理部では、商品の製造工場の安全、衛生管理能力が生協の求めるレベルであるか点検をしています。商品仕様とおりに製造がされているか確認します。

製造工場の品質管理、点検について

新規取り扱い商品の製造環境や製造工程管理がいずみ市民生協の求めるレベルに満たしているかの点検を行っています。新規商品は事前に「新規事前検査」を実施し、問題がないと確認されたもののみ商品企画されます。

大阪いずみ市民生協・わかやま市民生協の共同開発商品であるPB商品(プライベートブランド)のスマイルコープ商品は、毎年、年1回仕様書通りに製造が行われているかの点検を行っております。(2020年度は対象製造メーカー25社(26工場)を行う予定です)

製造環境調査

製造する商品の作業環境が原料、商品に腐敗・変敗など影響を及ぼす環境になっていないか等を確認します。

工程管理調査

商品が基準通りの加熱温度、加熱時間が守られているか、また、金属探知機の運用等が適切に行われているか確認します。

指定原料・トレーサビリティ調査

PB商品は、原材料において、いずみ生協が指定しているものは、原材料の入荷から製品の完成、生協の物流センターへの入荷に至るまで、製造時のロットNO、もしくは指定原料名で関連性が明確になっているか帳票・記録を遡って適切にその原料が使用されていることを確認します。

社会的責任調査

PB商品は、製造メーカーの労務状況、経営状況を確認し、製造メーカー内部での不正行為等について、従業員が申告できる環境が整っているかを確認します。



コロナウイルス感染にご注意ください!

正しい手の洗い方



① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



② 手の甲をのぼすようにこすります。



③ 指先・爪の間を念入りにこすります。



④ 指の間を洗います。



⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。



⑥ 手首も忘れずに洗い、十分に水で流します。

8月度 報告



食品安全プログラム 重点管理項目不適合[7月度]

商品の調達からお届け、その後の対応など、すべての工程で品質管理や安全管理に必要な項目を明確にし、事故が起こる前の防止対策として重点管理項目を監視しています。不適合は7月度16件でした。不適合に関しては、管理基準の逸脱があった場合は処置を行い、必要に応じて同様の基準外が発生しないための本質的改善としての是正処置を行います。

重点管理項目		不適合件数
事故管理	金属・プラスチック片の商品混入発生申告	4
	複数発生商品事故(同企画で3回)の発生	1
検査管理	食品衛生法違反(微生物)	2
	微生物管理基準(不合格ライン)違反	4
店舗	店内加工品への毛髪混入	2
	店内加工品への加工備品の混入(輪ゴムなど)	1
店舗事業	店舗加工品の裏面表示間違い(添加物・アレルギー)	1
宅配商品	発生なし	0
物流	カッターで箱開梱時に商品を破袋させる	1
食品工場	発生なし	0
合計		16

※上記の項目は申告数であり、調査の結果で問題なしとなった数を含みます。

商品事故お申し出件数

8月度の商品事故お申し出件数は217件(前年比 89.3%)でした。その内、異物混入は80件(前年比 98.8%)でした。

お申し出内容	異物混入(合計80件 発生率5.1ppm)					におい・味異常	容器・包装異常	変色	合計
	虫	毛髪	金属	原料由来(骨など)	その他				
件数(件)	29	12	0	16	23	30	13	5	217
発生率ppm	1.8	0.8	0.0	1.0	1.5	1.9	0.8	0.3	13.8

※1ppm=1/100万 ※集約件数は商品事故件数ではなく、お申し出をいただいた件数です。異物混入箇所は食品工場以外に家庭での混入なども含んでいます。

商品回収や利用者へ連絡した商品事故

8月度の商品事故において、利用者に対して商品回収や注意喚起などを電話やダイレクトメール等でお知らせをした主な商品事故を報告します。

発生日	企画回	商品名	供給数	発生内容	対応内容
8月7日	【宅配】 6月4回	ストラップ ハンディファン W	396点	「ファン本体の充電差し込み口が加熱し融けた状態になった」というお申し出があり、同様の事象発生の懸念があるため、メーカー自主回収。	利用者へダイレクトメールにてお知らせ。
8月7日	【店舗】 店舗商品	ガゼリ菌SP 株ヨーグルト 100g	85点	製造商品の一部分から蓋部分のシール不良商品が発見されたため、メーカー自主回収。	売り場へのPOP掲示にてお知らせ。
8月20日	【店舗】 店舗商品	おつまみ いかバター 30g	9点	一部の商品で脱酸素剤に通気の為の穴が開いていないものがあり、酸素を吸収するスピードが遅くなりカビや変質が発生する可能性があることが判明したため、メーカー自主回収。	売り場へのPOP掲示にてお知らせ、利用者へダイレクトメールにてお知らせ。

商品検査

組合員の商品に対する信頼にお応えするため、「コープ・ラボ」では生協が取り扱っている商品をさまざまな検査によってチェックしています。8月度の不適合は7件でした。前月より1件増加しました。検査結果を取引先に報告し、食品事故の未然防止に努めていきます。

■商品検査実績数

8月度	微生物	残留農薬	食品添加物	放射性物質	PCR	ヒスタミン	合計
宅配	1,618	95	94	24	6	13	1,850
店舗	94	30	10	1	4	4	143
合計	1,712	125	104	25	10	17	1,993
不適合件数	7	0	0	0	0	0	7

■検査結果の不適合

検査時期	取扱い区分	商品名	不適合内容	対応	
新規事前	賞味時	宅配	チーズころん(蒲鉾)	大腸菌群	再検査予定
			プリンコッペパン	一般生菌数	再検査予定
			ボンレスハム	一般生菌数	企画見合わせ、原因調査
抜き取り	入荷時	宅配	ロングウインナー	大腸菌群	改善指導
			賞味時	宅配	クッキーシュー(洋菓子)
	賞味時	宅配	山芋焼き	大腸菌群	改善指導
			枝豆天	大腸菌群	改善指導

※管理基準不適合は、より高いレベルを維持するための基準です。不適合であっても、商品の安全性に問題はありませぬ。

■放射性物質検査結果報告

放射性物質検査(25件)の結果は、すべて「検出せず」でした。検出せず:検出下限値(12.5Bq/kg)未満

検査日(2020)	商品名	産地情報	取扱	放射性セシウム134(Bq/Kg)	放射性セシウム137(Bq/Kg)
08/04	庄内だだちゃ豆(枝豆)無選別	山形県	宅配	検出せず	検出せず
08/06	さつまいも(紅東)	千葉県	宅配	検出せず	検出せず
08/06	信州の桃	長野県	宅配	検出せず	検出せず
08/07	福島県産桃(ミスピーチ)	福島県	宅配	検出せず	検出せず
08/07	信州上田のトマト	長野県	宅配	検出せず	検出せず
08/07	甘酒	製造場所:千葉県	宅配	検出せず	検出せず
08/11	有機抹茶入り玄米茶	製造場所:静岡県	宅配	検出せず	検出せず
08/12	ふっくらごはんが炊けました(パックご飯)	製造場所:福島県	宅配	検出せず	検出せず
08/13	メガとろ鯖一夜干し	さば:宮城県・千葉県産	宅配	検出せず	検出せず
08/13	スーパー大麦もち麦・玄米ごはん	玄米:山形県	宅配	検出せず	検出せず
08/13	三陸宮古の真だらの切身	岩手県	宅配	検出せず	検出せず
08/18	冷凍さんま(増量)	三陸沖	宅配	検出せず	検出せず
08/18	素干しあみえび	岩手県	宅配	検出せず	検出せず
08/19	だだちゃ豆	山形県	宅配	検出せず	検出せず
08/25	サンつがる	長野県	宅配	検出せず	検出せず
08/26	生協のミニ白菜	群馬県・静岡県	宅配	検出せず	検出せず
08/26	福島県産黄金桃	福島県	宅配	検出せず	検出せず
08/28	茨城れんこん	茨城県	宅配	検出せず	検出せず
08/28	種なし巨峰	長野県	宅配	検出せず	検出せず
08/28	福島県産幸水梨	福島県	宅配	検出せず	検出せず
08/28	茨城県産平ほしいも 雪ごろも	さつまいも:茨城県産	宅配	検出せず	検出せず
08/12	山形のデラウェア	山形県	宅配	検出せず	検出せず
08/13	新潟茶豆	枝豆:新潟県	宅配	検出せず	検出せず
08/19	いわし醤油味付け	いわし:宮城県	宅配	検出せず	検出せず
08/21	きゅうり	福島県	店舗	検出せず	検出せず

パンのグリホサートの残留検査を実施



「パンに使われている輸入小麦の残留農薬」についてのお問い合わせが寄せられています。

「輸入小麦のグリホサート農薬の残留が気になります。生協の商品は大丈夫ですか」

「外国ではグリホサートの使用が禁止になっている国もあるが、日本はなぜ使用することができるのか」

「毛髪からグリホサートが検出されたという情報などもあり不安です。」

いずみ市民生協の商品検査センター コープ・ラボで残留農薬検査を実施しました。

グリホサートの残留検査結果

- ① 生協で取り扱っているパン17品を検査しました。
- ② 実施期間:3月～6月
- ③ 国産小麦を原料とするパンからの検出はありませんでした。
- ④ 輸入小麦を原料とするパンもごく微量しか検出されませんでした。
0.05～0.14PPM / 検出限界値(0.05ppm)



検査結果の見方

- 「検出されたから危険」ではありません。(毒性学の基本より)

高濃度では毒性がある物質も低濃度であれば毒性は見られないのが通例です。

どのくらいの量なら体に影響を与えないか、その量は物質ごとに異なります。

物質ごとに、無毒性量が計測されています。※ラットやマウスなどの動物を使って、有害な影響が見られない、最大の用量。

無毒性量に安全係数(通常1/100)をかけた値をADI(人が一生に渡り、毎日食べ続けても毒性のない量)とみなしています。

- 今回検出された最大値0.14PPMは基準値の1/120です。

原料の小麦の残留値に換算すると0.25PPMで、小麦の残留基準値30PPMの約1/120になります。

その農薬の様々な食品を通じた長期的な摂取量の総計がADIの8割を超えないように、農産物ごとに残留基準が決められています。

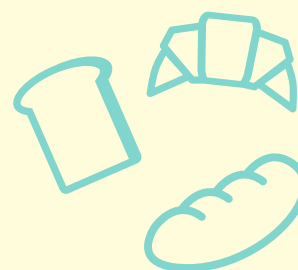
※食パンの小麦割合55%で計算。

- ADIを超えるには毎日7千枚以上の食パン(6枚切)を食べる必要があります。

※体重:60kg ADI:1mg/Kg 体重/日 食パン(6枚切)1枚60gで計算

- この量では、食品由来で毛髪から検出されることは考えられません。

食品を食べることで人の体内に入った物質は、体の動きにより分解されたり、尿と一緒に外に出るなど、ふつうは体内にたまり続けることはありません。



グリホサートとは

- ①農業や家庭菜園に世界で最も広く使用されている除草剤です。
- ②他の農薬と同様、残留基準内であれば、人の健康へのリスクは心配ありません。

日本をはじめ、世界の食品のリスク評価機関は「人の健康へのリスクなし」と判断しています。

2015年、国際がん研究機関(IARC)が、グリホサートを「おそらく発がん性の可能性あり」のグループ2Aに分類したことが

きっかけで、大きな騒動になりましたが、その後、世界保健機関と国連食糧農業機関の合同残留農薬専門家会議や

日本、欧州、米国、カナダ、ニュージーランドなどの「食品のリスク評価機関」は改めて「人の健康へのリスクなし」と判断しています。

IARCが行ったのは、「ハザード(発がん物質かどうか)の可能性」の特定です。

一方、食品安全委員会等リスク評価機関が行ったのは、実際に摂取する量考えた「ヒトの健康被害に対するリスクの評価」です。

現時点では、グリホサートは、特別問題視しなければならない農薬だとは考えていません。

いずみ市民生協では、引き続き定期的に残留検査を実施するとともに、国内外の最新の情報の収集に努めてまいります。